

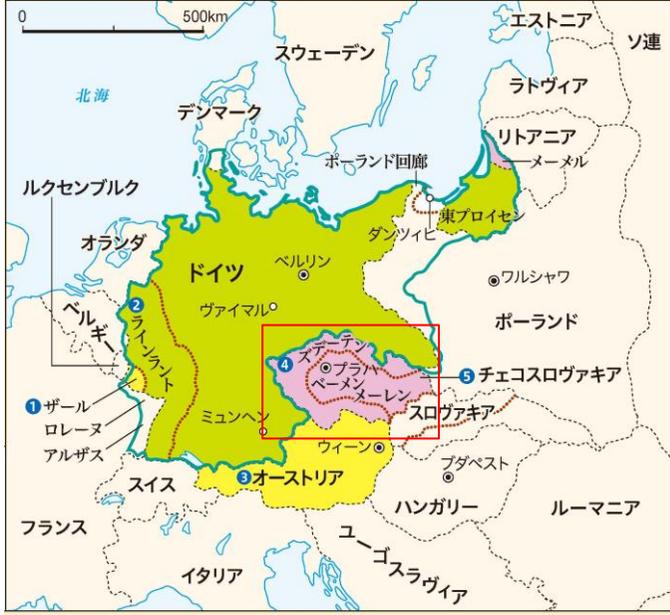
高等学校「わたしたちの歴史 日本から世界へ（歴総709）」

訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
ページ	行			
6	3	<p>いう1つの世界を形成している。インドの人口は中国について多く、現</p>	<p>いう1つの世界を形成している。インドの人口は中国に<u>並んで</u>多く、現</p>	<p>近年の情勢にあわせて変更</p>
28	図3	<div data-bbox="517 517 943 1082" data-label="Complex-Block">  <p>(銘文) 琉球國者南海勝地而 鍾三韓之秀以大明為 輔車以日域為膏齒在 此中間湧出之蓬萊 嶋也以舟楫為萬國之 津梁異産至宝充滿十 方刹</p> <p>(現代語訳) 琉球国は南海のすばらしいところ で三韓(朝鮮)の秀(すぐれたもの) を集め、大明(中国)をもって輔車 〔重要な関係〕となし、日域(日本) をもって膏齒(密接な関係)となす。 この二国(中国と日本)の中間に湧 き出でた蓬萊嶋(理想の島)である。 舟楫をもって「舟をかよわせて」万 国の津梁(架け橋)となし、異産至 宝(外国の宝)は十方刹(いたるところ) に満ちあふれている。</p> </div>	<div data-bbox="1249 517 1675 1082" data-label="Complex-Block">  <p>(銘文) 琉球國者南海勝地而 鍾三韓之秀以大明為 輔車以日域為膏齒在 此中間湧出之蓬萊 嶋也以舟楫為萬國之 津梁異産至宝充滿十 方刹</p> <p>(現代語訳) 琉球国は南海のすばらしいところ で三韓(朝鮮)の秀(すぐれたもの) を集め、大明(中国)をもって輔車 〔重要な関係〕となし、日域(日本) をもって膏齒(密接な関係)となす。 この二国(中国と日本)の中間に湧 き出でた蓬萊嶋(理想の島)である。 舟楫をもって「舟をかよわせて」万 国の津梁(架け橋)となし、異産至 宝(外国の宝)は十方刹(いたるところ) に満ちあふれている。</p> </div>	<p>より厳密な表記 に修正</p>

高等学校「わたしたちの歴史 日本から世界へ（歴総709）」

訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
ページ	行			
39	図5	<p>5 ゲティスバーグ演説</p> <p>87年前、われわれの父祖たちは、自由の精神にはぐくまれ、人はみな平等につくられているという信条にささげられた新しい国家を、この大陸に誕生させた。</p> <p>今われわれは、一大内戦のさなかにあり、戦うことにより、自由の精神をはぐくみ、自由の心情にささげられたこの国家が、あるいは、このようなあらゆる国家が、長く存続することは可能なかどうかを試しているわけである。……われわれの目の前に残された偉大な事業にここで身をささげるべきは、むしろわれわれ自身なのである。それは、……この国に神のもとで自由の新しい誕生を迎えさせるために、そして、人民の、人民による、人民のための政治を地上から決して絶滅させないために、われわれがここで固く決意することである。</p> <p>(AMERICAN CENTER JAPAN)</p>	<p>5 ゲティスバーグ演説</p> <p>87年前、われわれの父祖たちは、自由の精神にはぐくまれ、すべての人は平等につくられているという信条にささげられた、新しい国家を、この大陸に打ちたてました。</p> <p>今われわれは一大国内戦争のさなかにあり、これによりこの国家が、あるいはまた、このような精神にはぐくまれ、このようにささげられたあらゆる国家が、永続できるか否かの試練を受けているわけであります。……われわれの前に残されている大事業に、ここで身をささげるべきは、むしろわれわれ自身であります。それは、……この国家をして、神のもとに、新しく自由の誕生をなさしめるため、そして人民の、人民による、人民のための、政治を地上から絶滅させないため、であります。</p> <p>(高木八尺・斎藤光訳『リンカーン演説集』)</p>	<p>翻訳文と出典を差し替え</p>

高等学校「わたしたちの歴史 日本から世界へ（歴総709）」

訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
ページ	行			
98	図2			「ズデーテン」の文字の配置を変更
168	年表	<p><u>1860</u> 米、リンカン大統領就任</p> <p><u>1861</u> 米、南北戦争(~65)</p> <p><u>1863</u> リンカン米大統領、奴隷解放宣言</p>	<p><u>1861</u> 米、リンカン大統領就任。南北戦争(~65)</p> <p><u>1863</u> リンカン米大統領、奴隷解放宣言</p>	より厳密な表記に修正

高等学校「わたしたちの歴史 日本から世界へ（歴総709）」

訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由
ページ	行			
172	年表	<p>1957 バグウォッシュ会議 1957 国際原子力機構(IAEA)発足</p>	<p>1957 バグウォッシュ会議 1957 国際原子力機構(IAEA)発足</p>	より厳密な表記に修正
172	年表	<p>1985 ゴルバチョフ、ペレストロイカ開始 1986 ソ連、<u>チョルノービリ原発事故</u></p>	<p>1986 <u>ソ連、ペレストロイカ開始。チョルノービリ 原発事故</u></p>	より厳密な表記に修正